

## (2)土地利用

本地域の土地利用は、住宅地と教育機関などの公共施設や商業・業務施設などが多くみられる。全体に低層住宅が多く、中部から南部にかけては、中高層住宅がやや多く分布している。

業務施設は小規模なものが多く、東部や西部などに分布している。

学校などの公共施設は中部に、公園は各所に小規模なものが点在している。

## (3)道路網

本地域の広域幹線道路は、西側を大阪内環状線が通っている。本地域内への幹線道路は西部を南北方向に府道大阪高槻線が通っている。

区画道路は、一般の生活道路で、乗用車の対向が可能な幅員の道路で、全体に格子状にみられる。

狭隘道路や行止り道路は、乗用車の対向がしにくいかできない道路や袋小路となった行止りの道路で、北部や西部などにみられる。

## 2-4.災害予測等

### (1)水害予測

#### ①淀川外水氾濫

淀川の外水氾濫予測図によれば、本地域は、浸水深の最大は5.5m~6.0mで、4.0m~5.5mの区域は、東部や西部などにみられ、中部、北部の一部は3.0m~4.0mの浸水深となっている。

収容避難所である大道南小学校は、この

図 土地利用図



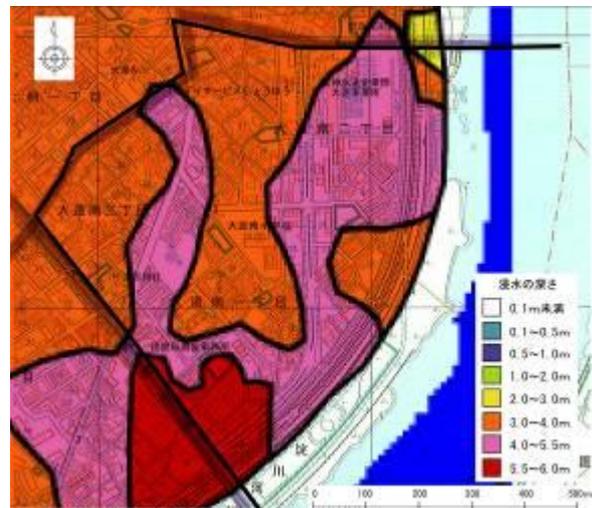
資料) 国土地理院

図 道路網図



作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

図 外水氾濫予測図(淀川)



- 3 - 作図) (株) ランドシステム研究所、岡本

図によれば、1階まで浸水する予測となっている。

### ②神崎川・安威川 外水氾濫

神崎川・安威川の外水氾濫予測図では、本地域は、大道南1丁目のごく一部が0.1m~0.5mで浸水する予測となっている。

### ③内水氾濫

内水氾濫予測図によれば、本地域は、0.1m~0.5mの浸水深が北部と南部にみられる。大道南小学校は1階も浸水しない予測となっている。

## (2)地震予測

### ①震度予測

上町断層が活動した時の震度予測は、震度予測図によれば、本地域はほぼ全域が震度6強の激しい揺れが発生し、一部では震度7に達するものと予測されている。

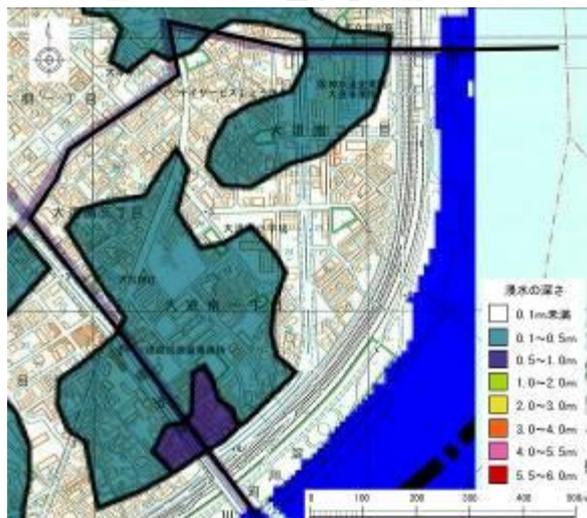


### ②液状化

地盤の液状化はその土地の地下に堆積する砂層の分布や固結度、地下水位などの状況により大きく変化する。

本地域の液状化の危険性は、北部、東部で発生しやすい地区がみられ、その他の区域では、発生しにくいと予測されている。

図 内水氾濫予想区図



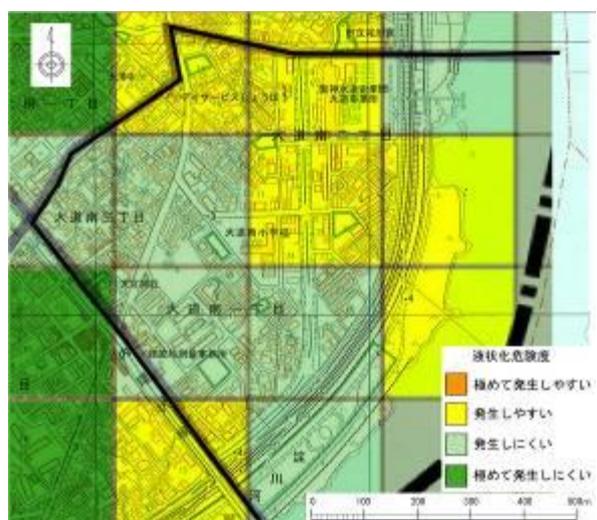
作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

図 震度予測図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本

図 液状化予測図



作図) (株)ランドシステム研究所、岡本